

独立行政法人
国立病院機構

長崎医療センター

腫瘍集計報告

2016

NATIONAL
NAGASAKI
MEDICAL CENTER

2016年1月～2016年12月



巻 頭 言

長崎医療センター腫瘍集計報告2016が完成しました。本報告は2016年の1年間に長崎医療センターで診療を開始したがん患者の内訳をまとめたものです。小冊子ではありますが、大きな中身を持っていると自負しています。今回から全てのがんといわゆる5大がんの登録件数の年次推移を新たに掲載しています。2012年から5年間の登録件数を見ると新規登録数は年間1600件台で推移しており、大きな変化は見られないようです。5大がん別では、肺がんと乳がんが少し増えてきており、胃がんと肝がんは逆に少し減ってきています。ひとつの病院のがん患者の取り扱い数の増減は地域の様々な事情、例えば人口数や人口構成の変化、近隣の医療機関のアクティビティなどに影響されることが大きいと思われます。とはいえ、そのような変化を把握することが運営上は大切であり、その意味でも毎年の正確な集計を積み重ねていくことは大きな意味があると思います。

さて2025年の医療提供体制のあるべき姿を示す地域医療構想が各地域で2016年度末までにまとめられ、現在は各地域の実情を踏まえて実際のプランに落とし込む場である地域医療構想調整会議が開催されています。ただその調整会議では、いわゆる必要病床数をどう調整するかといった議論が中心になっ

ているように思われます。今後は疾病ごと、例えばがん診療のあり方などについての議論を進めていく必要があります。その際には実際の診療実績に基づいた議論が重要であります。今回の腫瘍集計のようなデータがそのような場で求められる資料であり、今後役立つものと考えています。

最後に、正確な腫瘍集計を目指して日々頑張ってくれているスタッフの努力に感謝いたします。

2017年12月

独立行政法人国立病院機構長崎医療センター

院長 江崎宏典

目 次

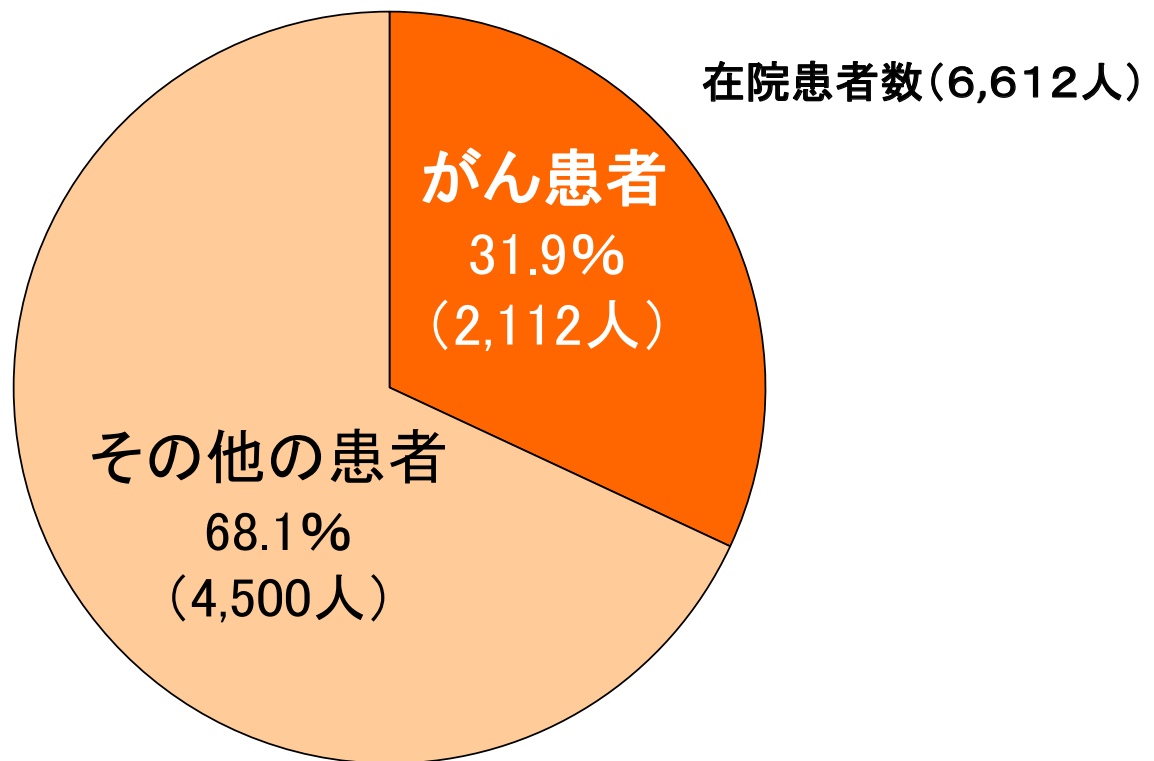
< 腫瘍集計報告 2016 >

在院患者におけるがん患者の割合	1
在院がん患者における臓器別件数	1
全がん 部位別登録件数	2
全がん 部位別登録件数〔男性〕	2
全がん 部位別登録件数〔女性〕	3
全がん 年齢別登録件数	3
年齢別登録件数〔男性〕	4
年齢別登録件数〔女性〕	4
地域別登録件数〔全臓器〕	5
地域別登録件数〔胃〕	5
地域別登録件数〔大腸〕	6
地域別登録件数〔肝臓〕	6
地域別登録件数〔肺〕	7
地域別登録件数〔乳房〕	7
来院経路	8
初回治療方法	8
初回治療方法（5 大がん）	9

<2012～2016 年次推移>

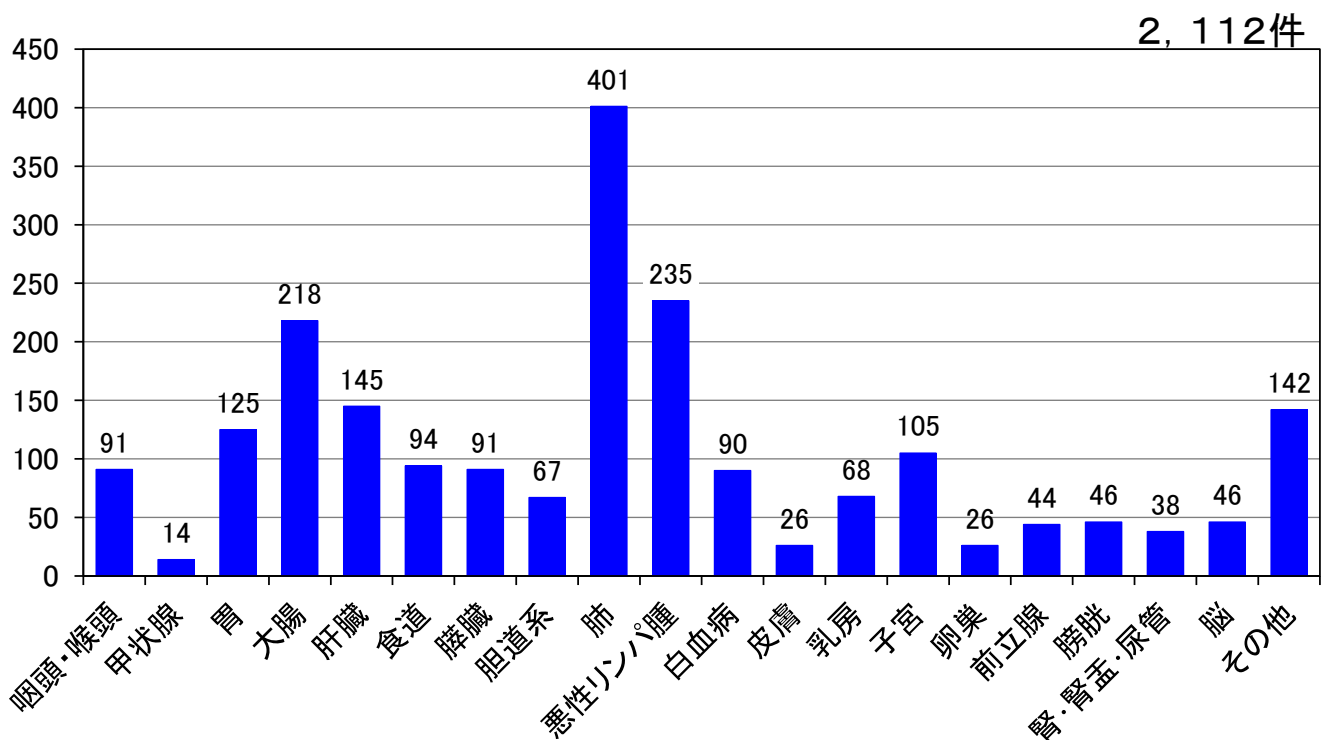
登録件数（5大がん）の推移	10
診断年別登録件数の推移	10
編集後記	11

在院患者におけるがん患者の割合



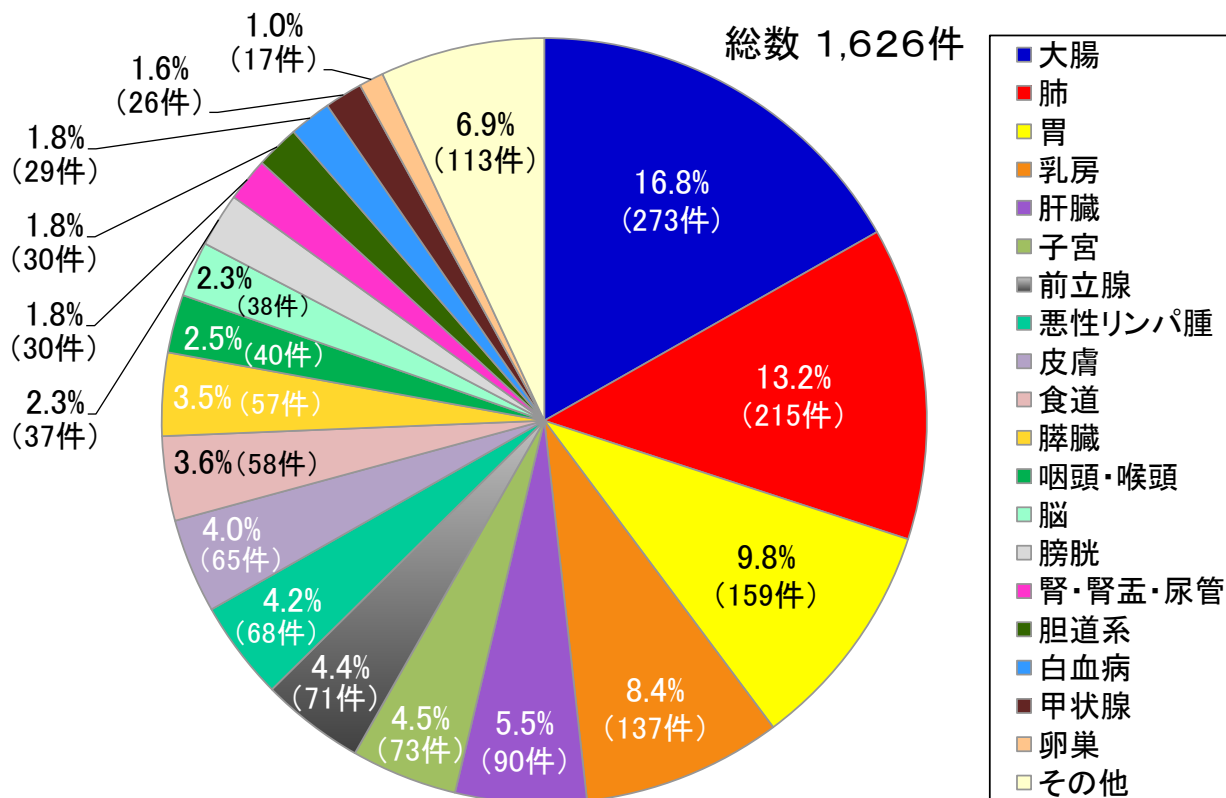
(2016年1月～2016年12月の各月末平日1日の患者数の累計)

在院がん患者における臓器別件数

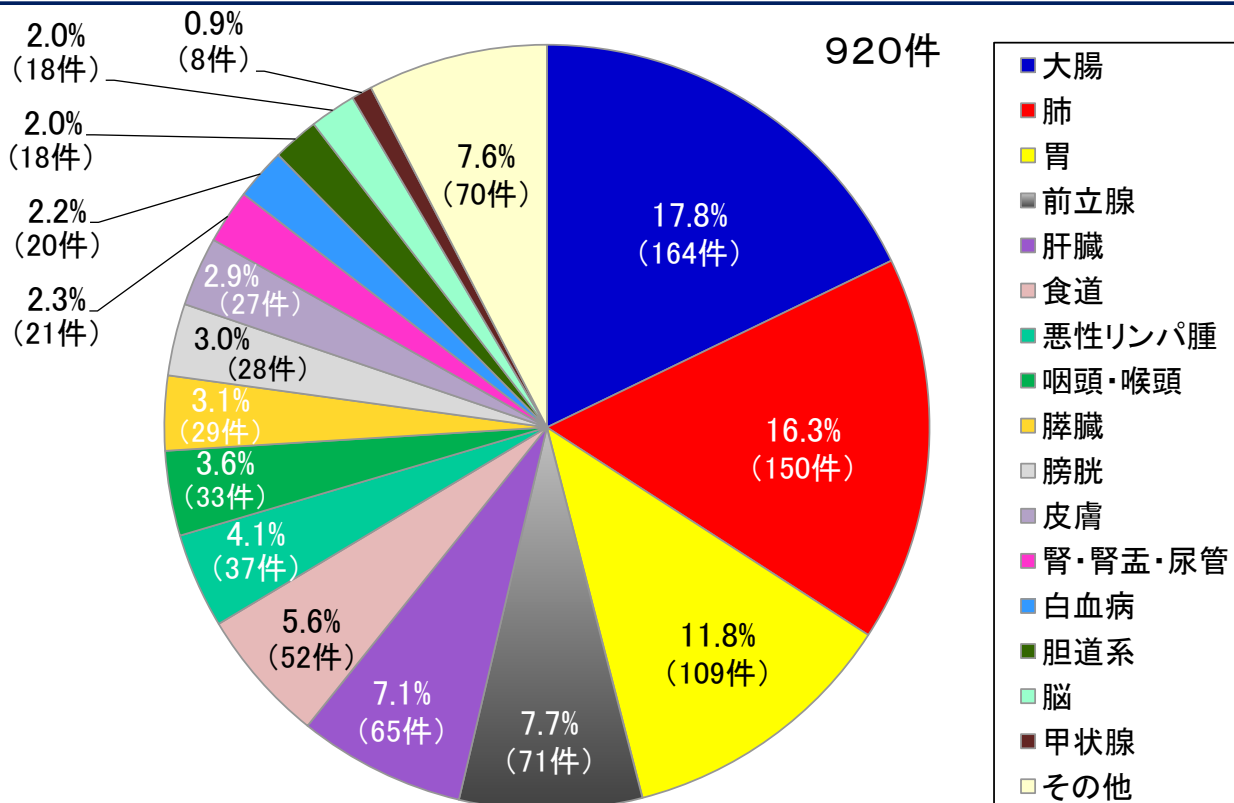


(2016年1月～2016年12月の各月末平日1日の患者数の累計)

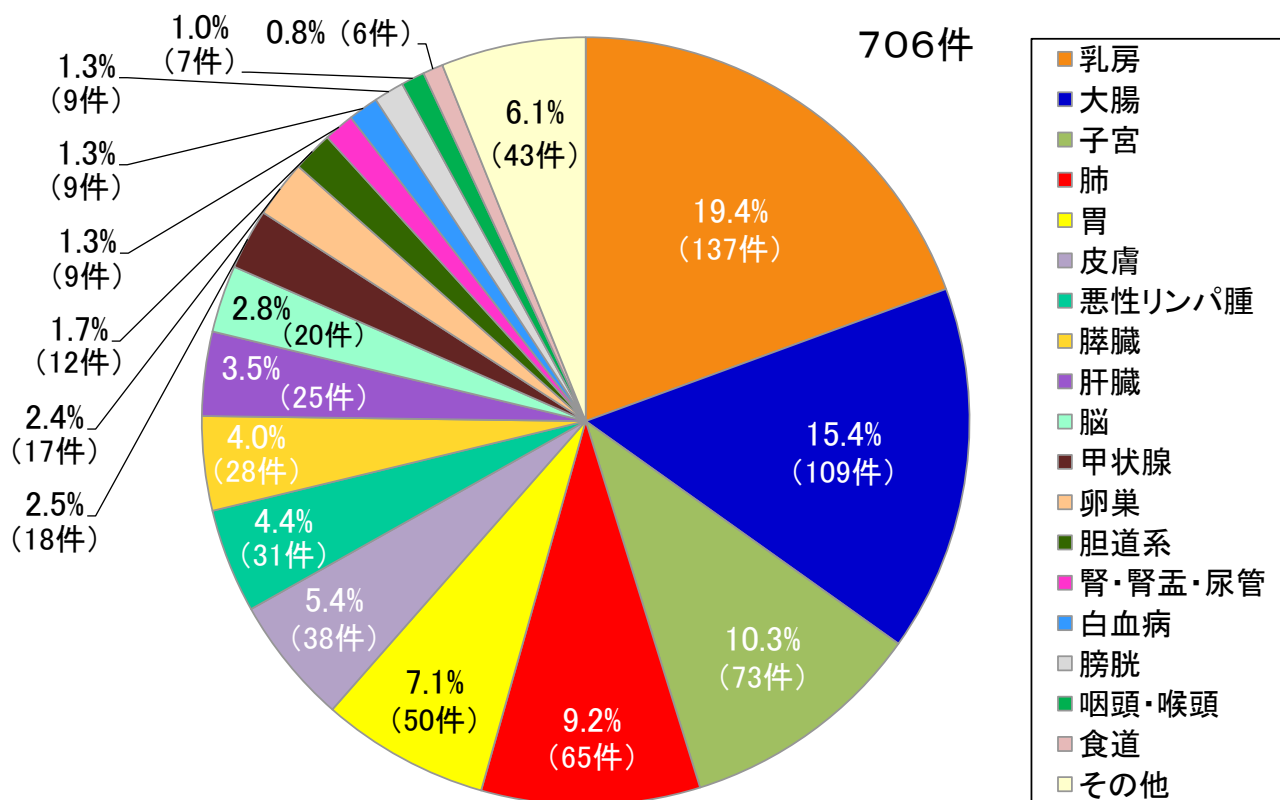
全がん 部位別登録件数



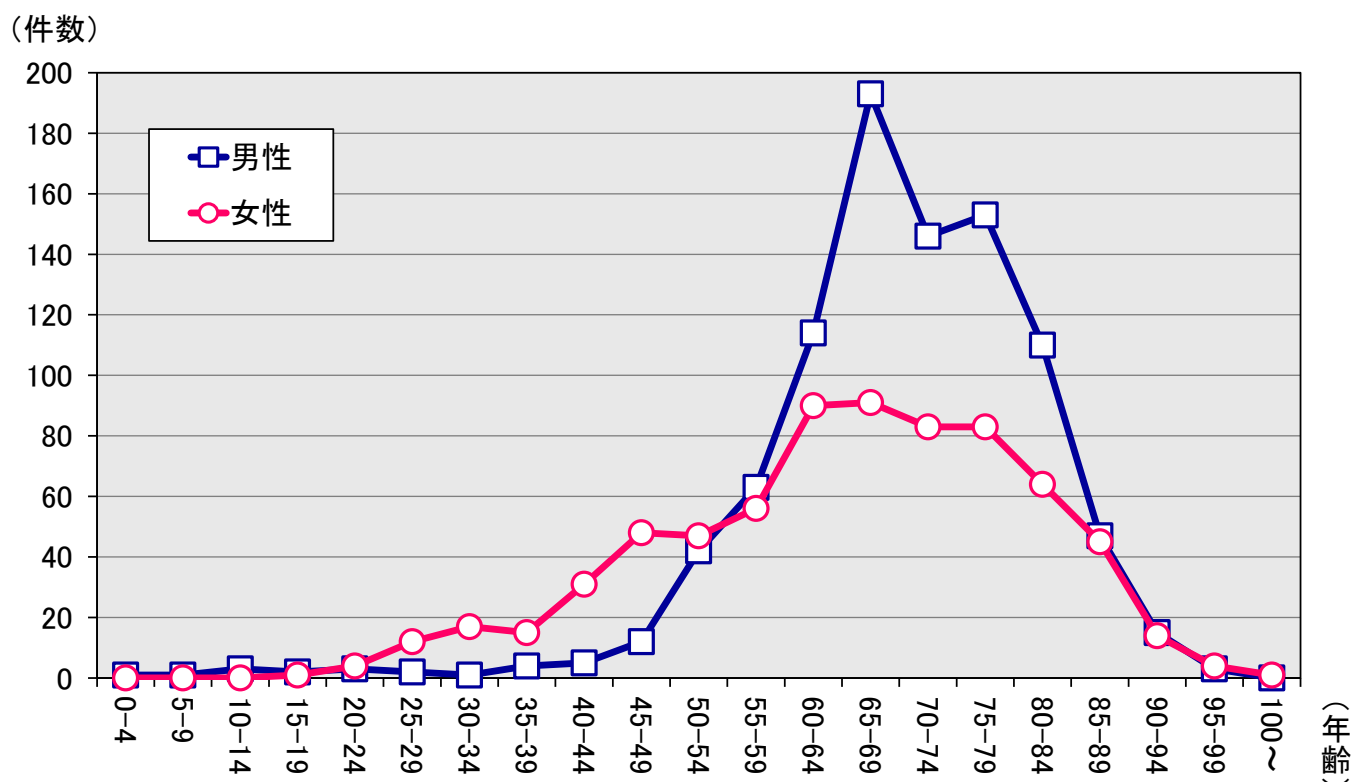
全がん 部位別登録件数〔男性〕



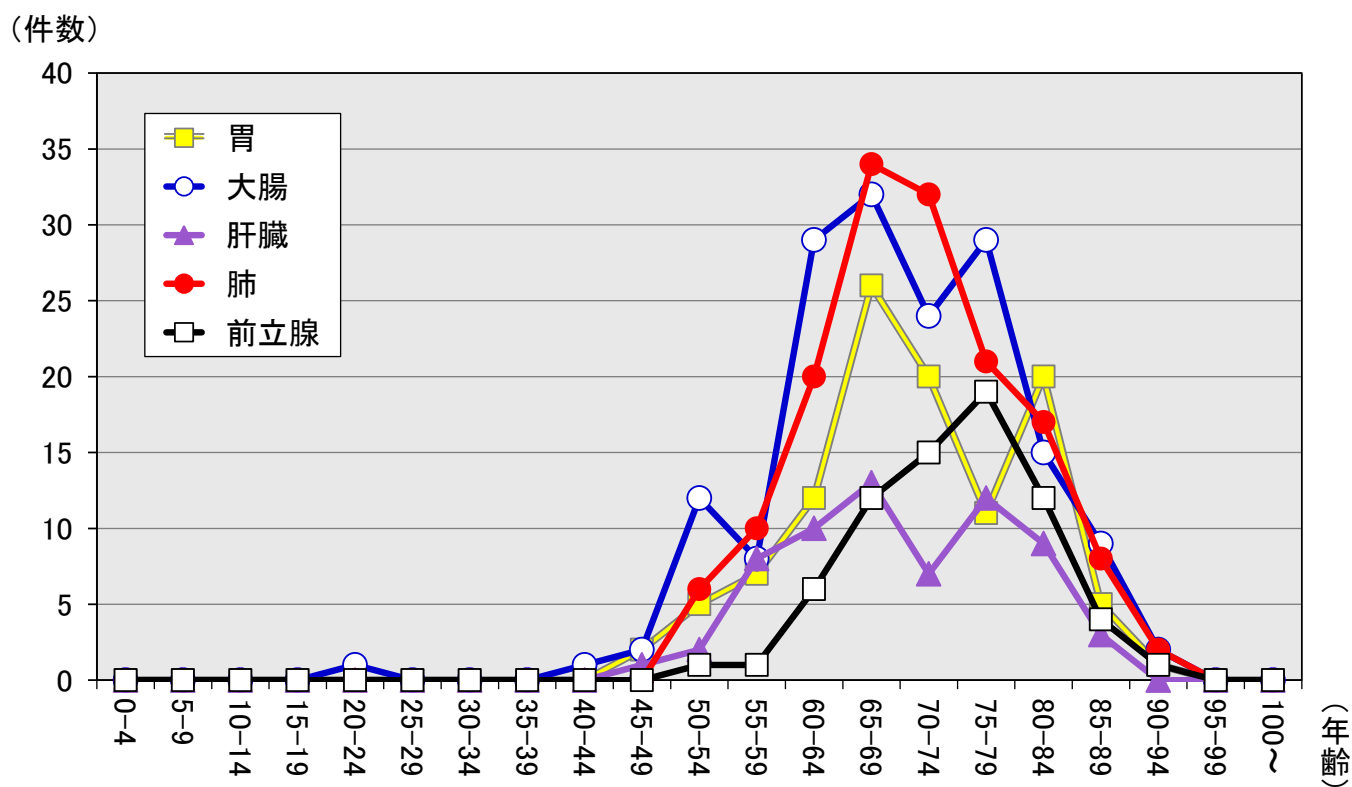
全がん 部位別登録件数〔女性〕



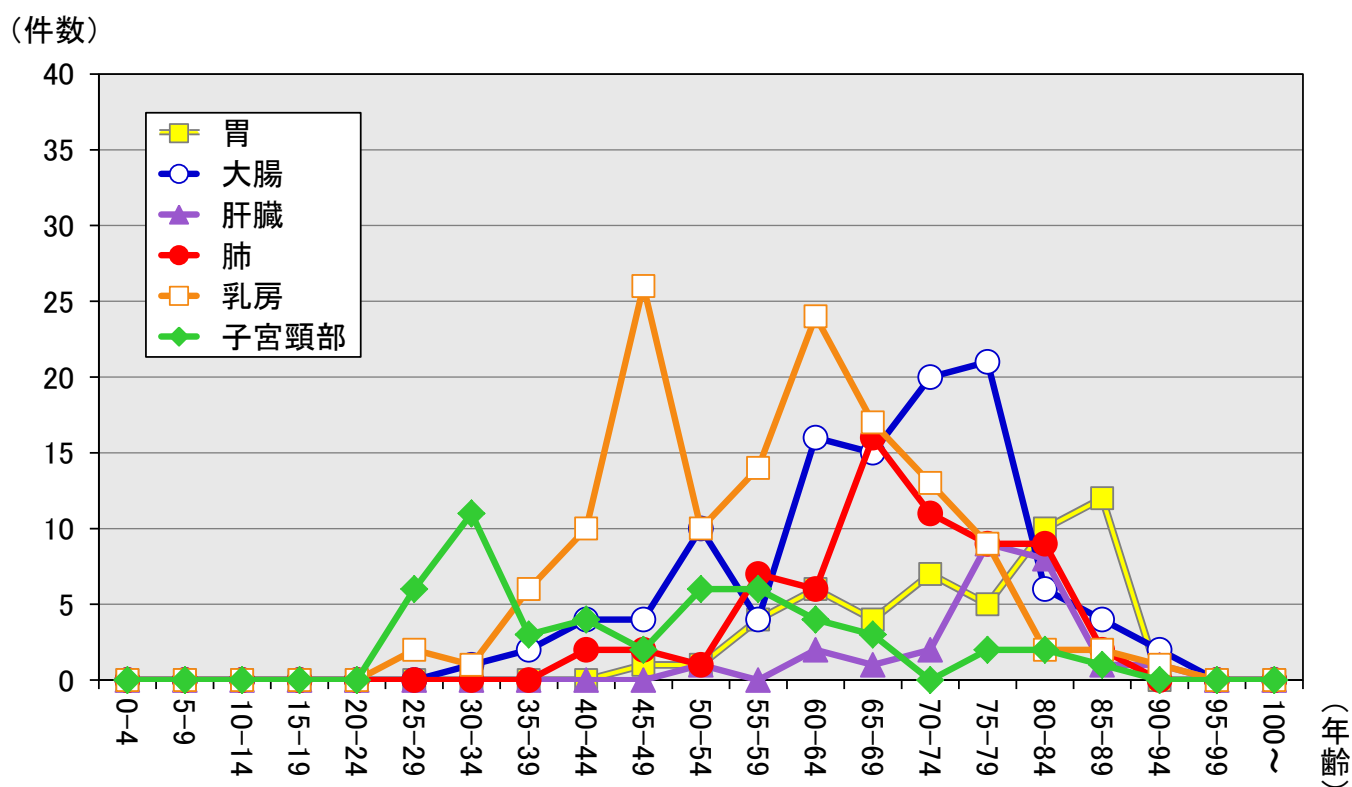
全がん 年齢別登録件数

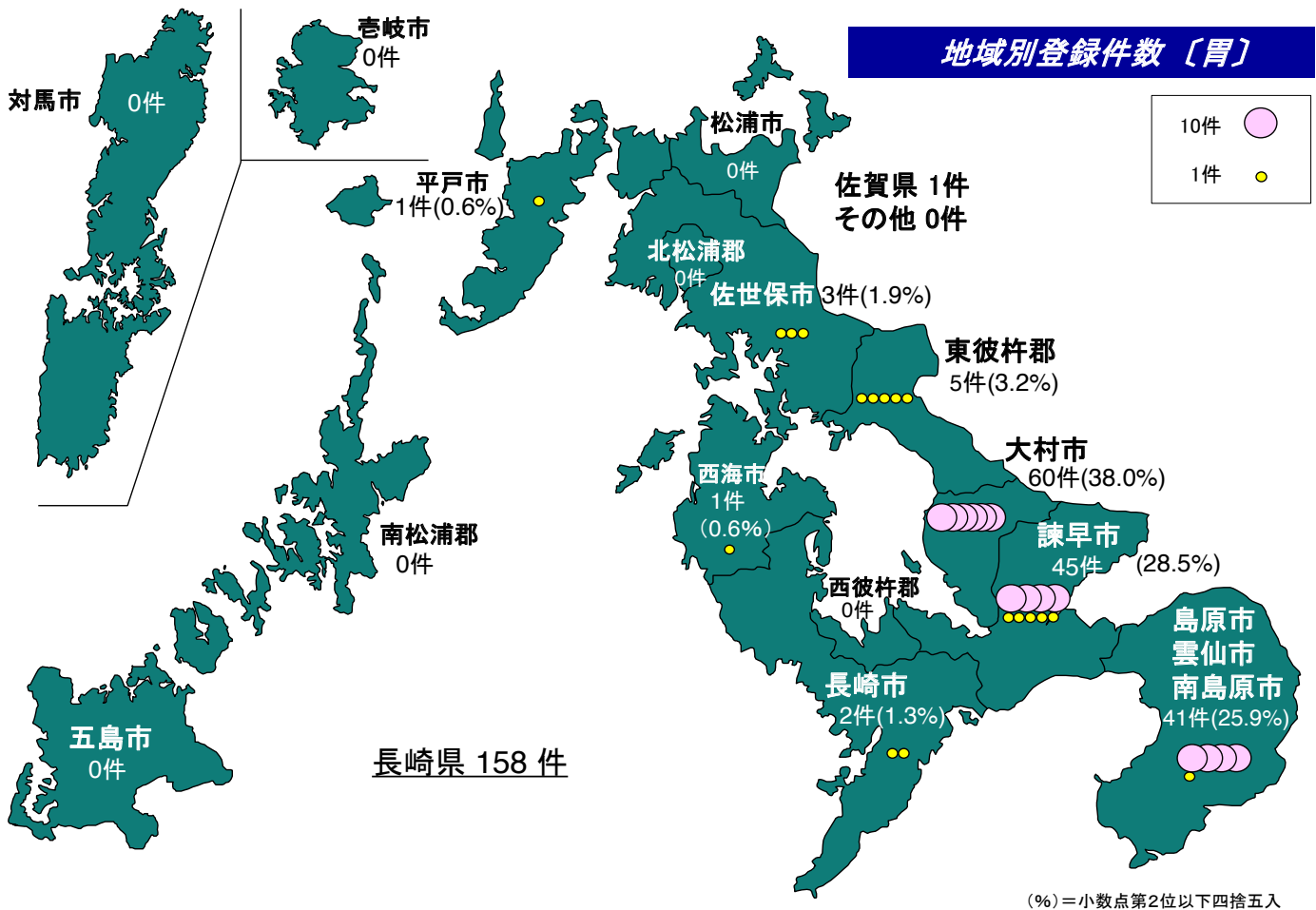
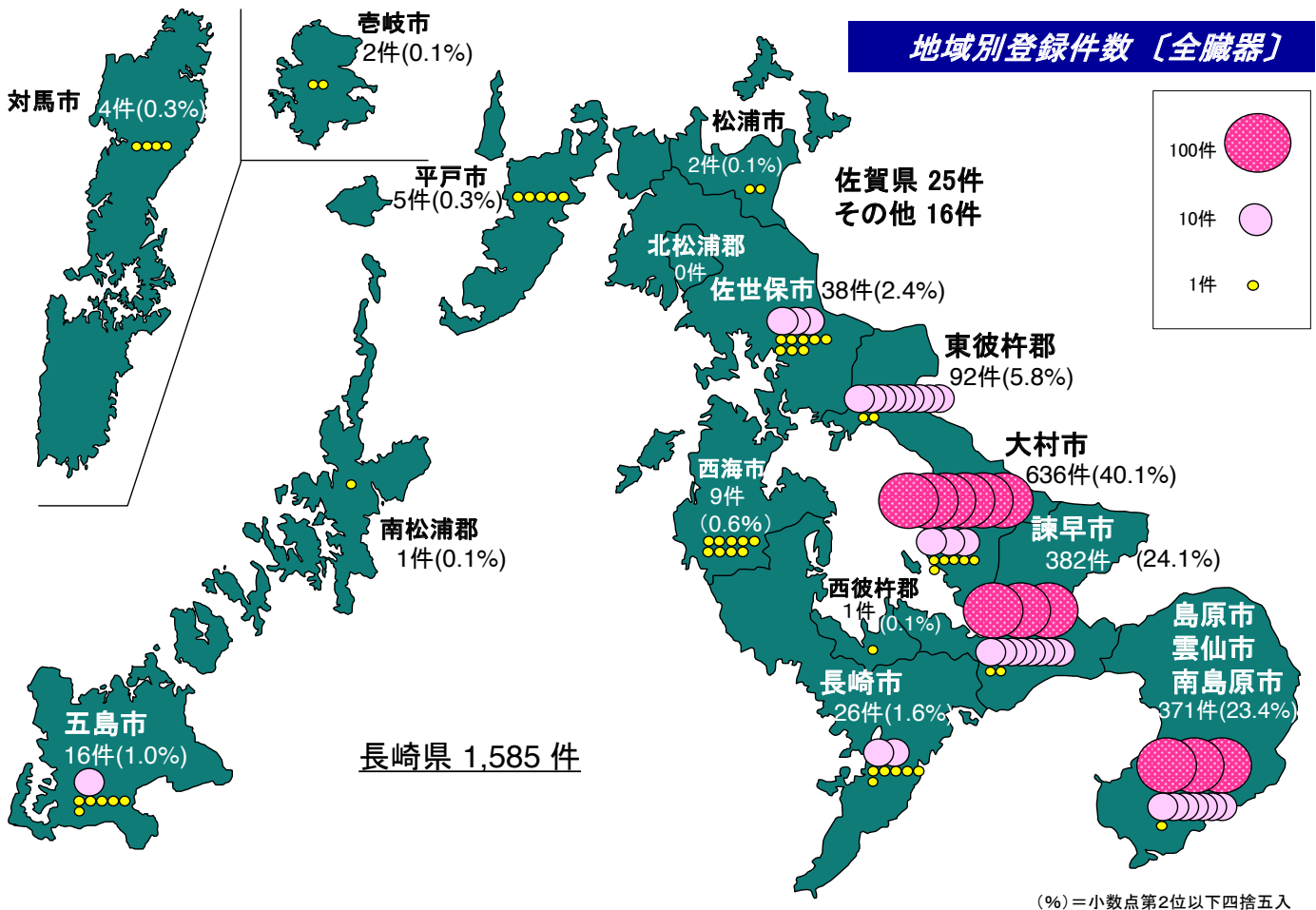


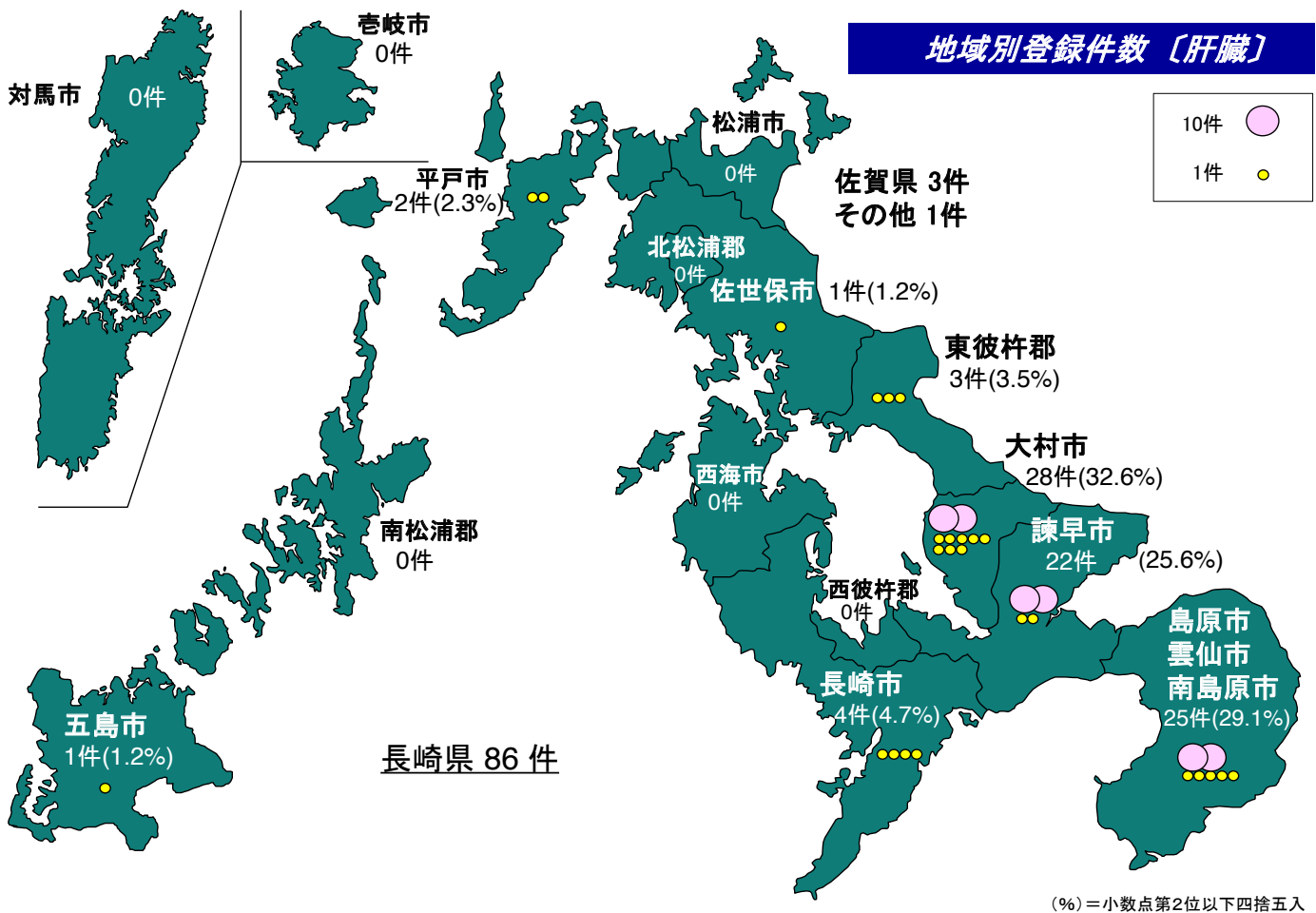
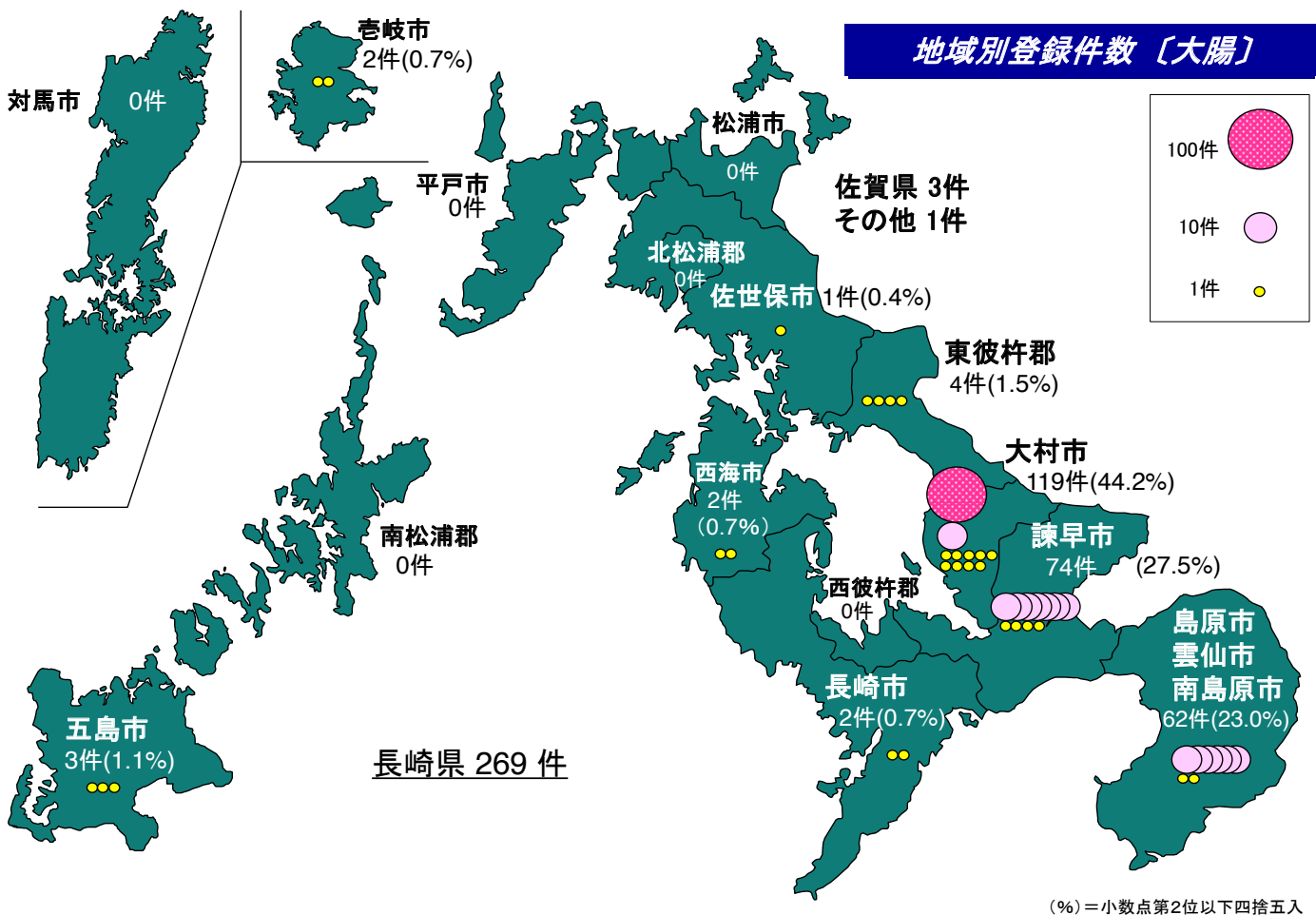
年齢別登録件数 〔男性〕

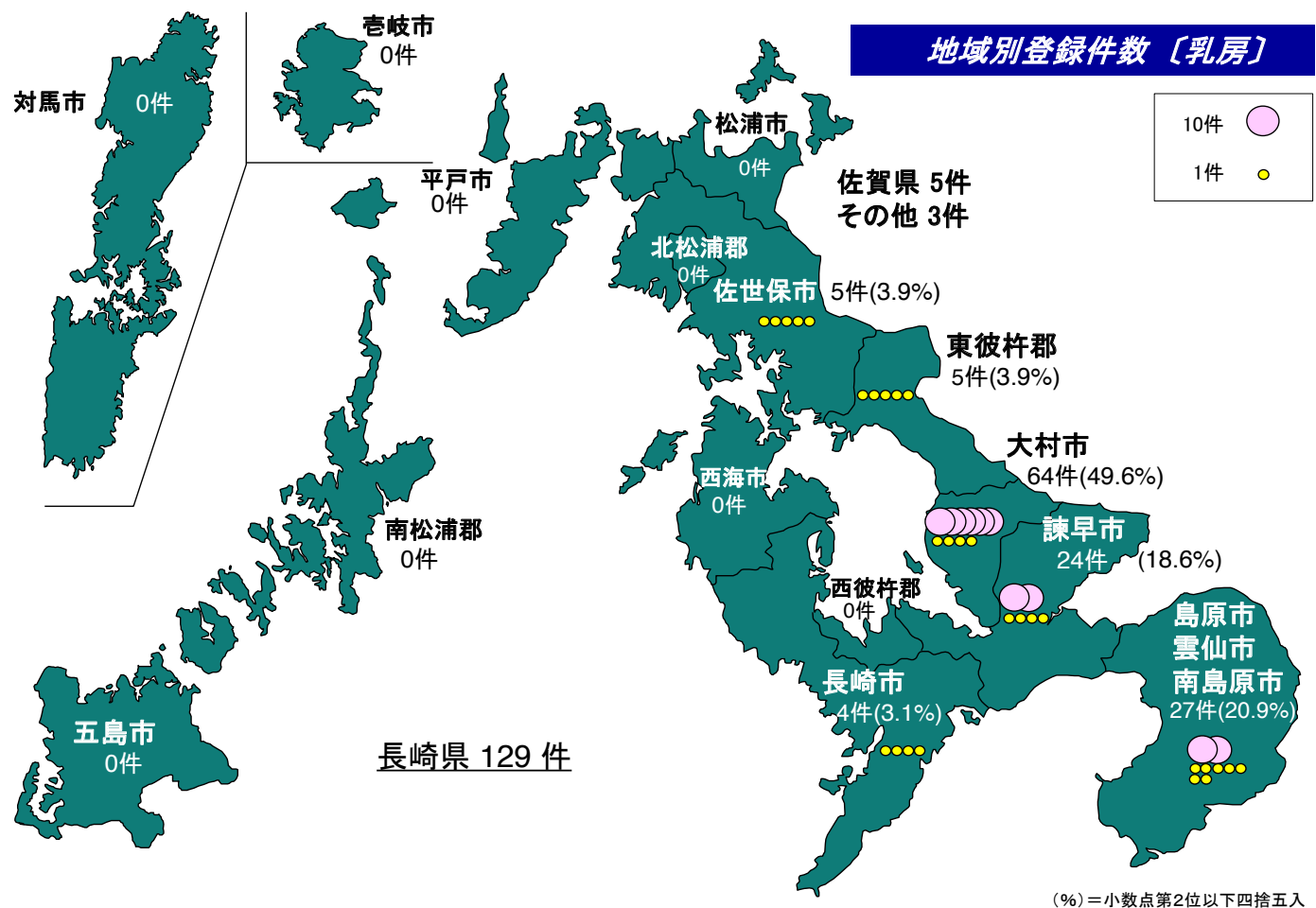
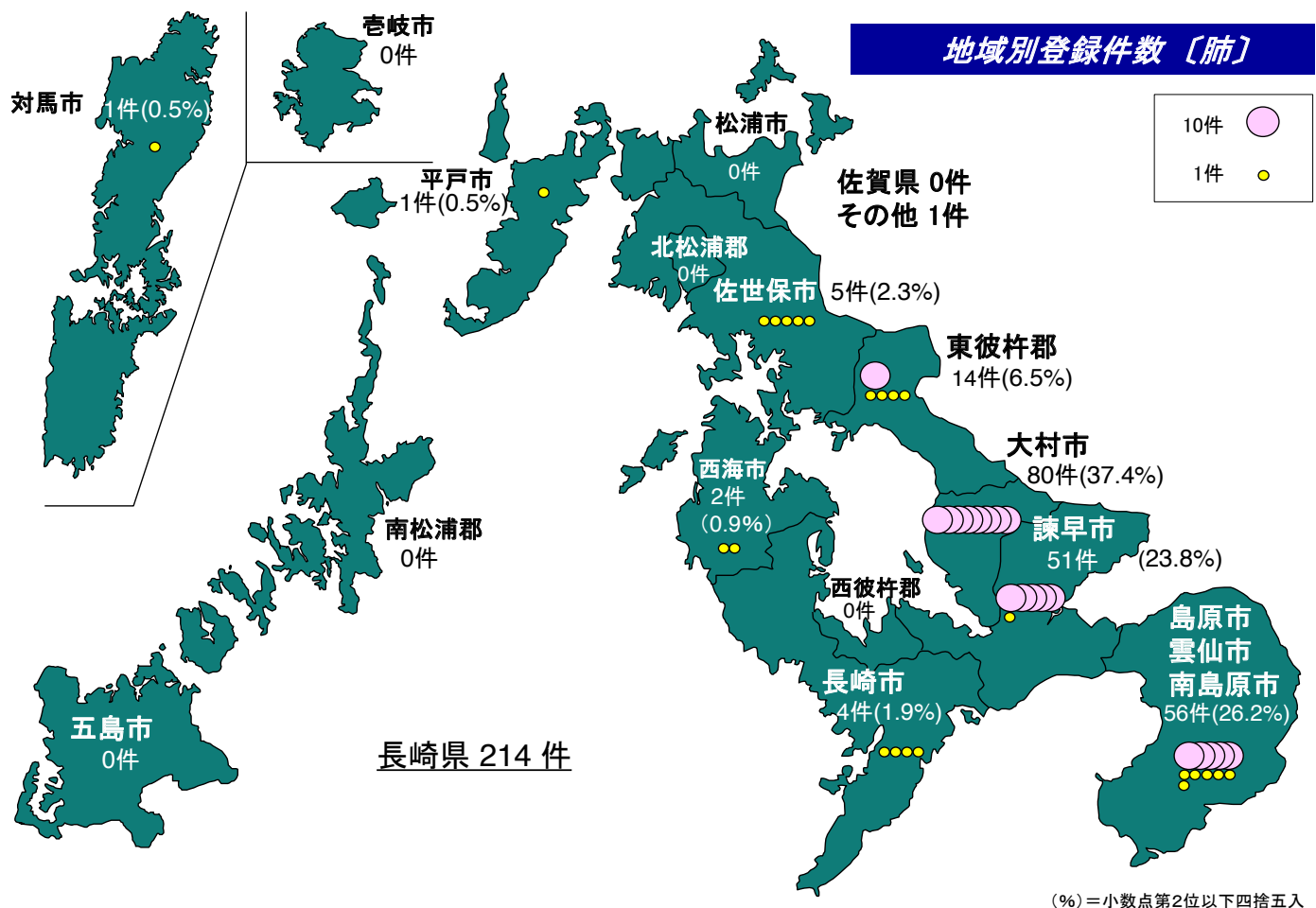


年齢別登録件数 〔女性〕

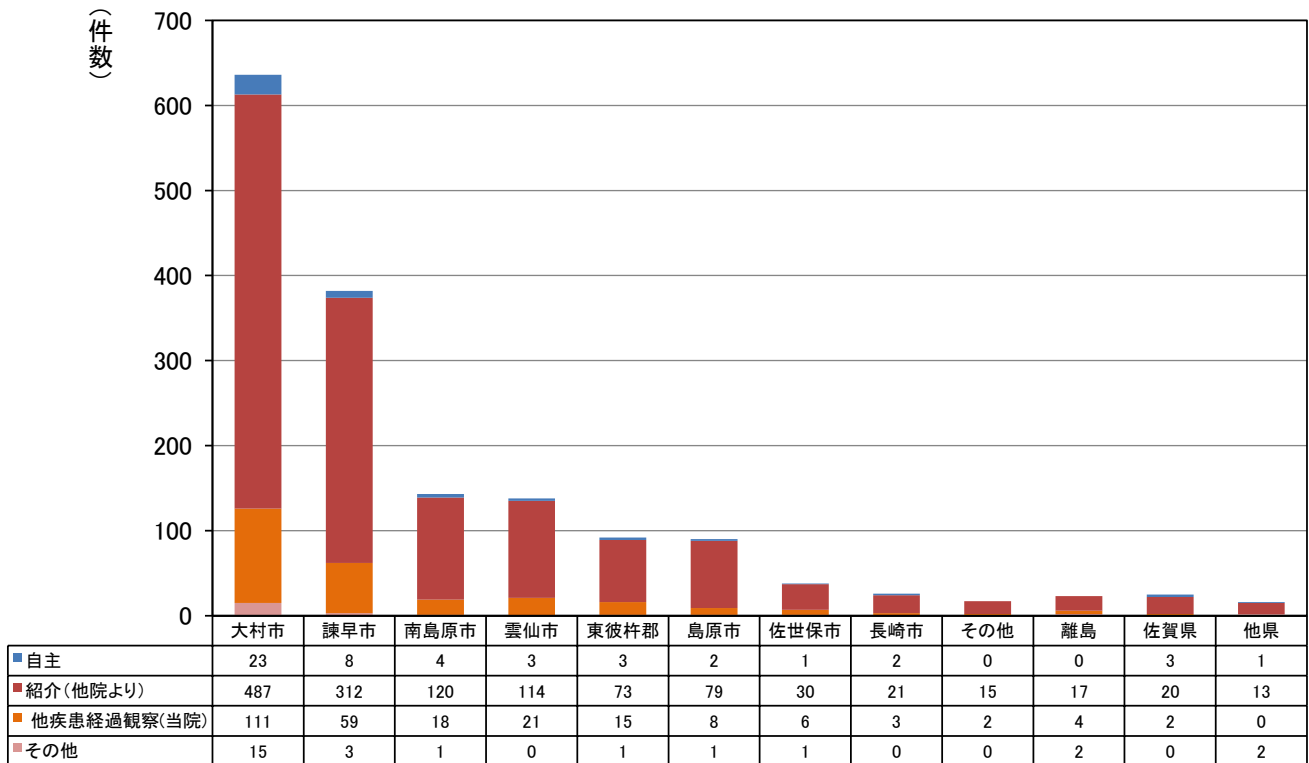




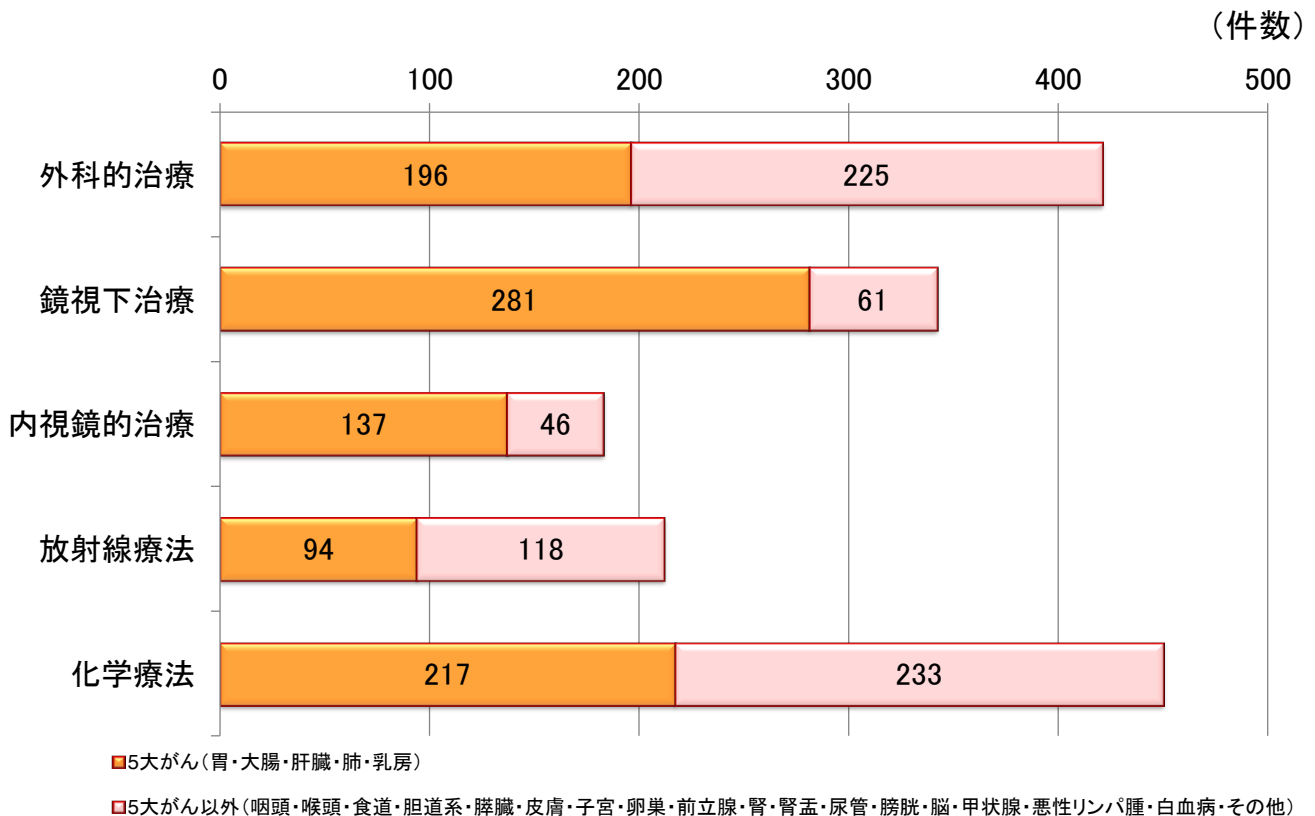




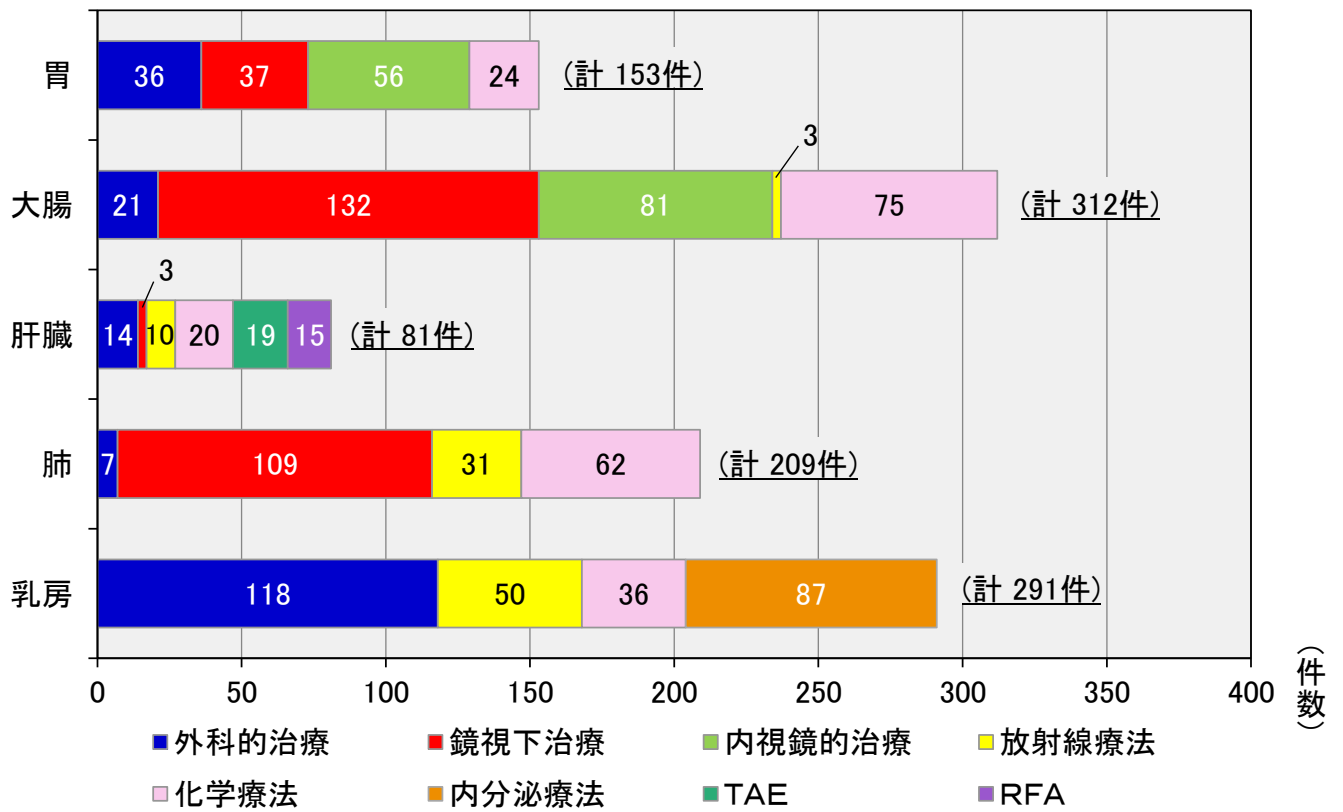
来院経路



初回治療方法

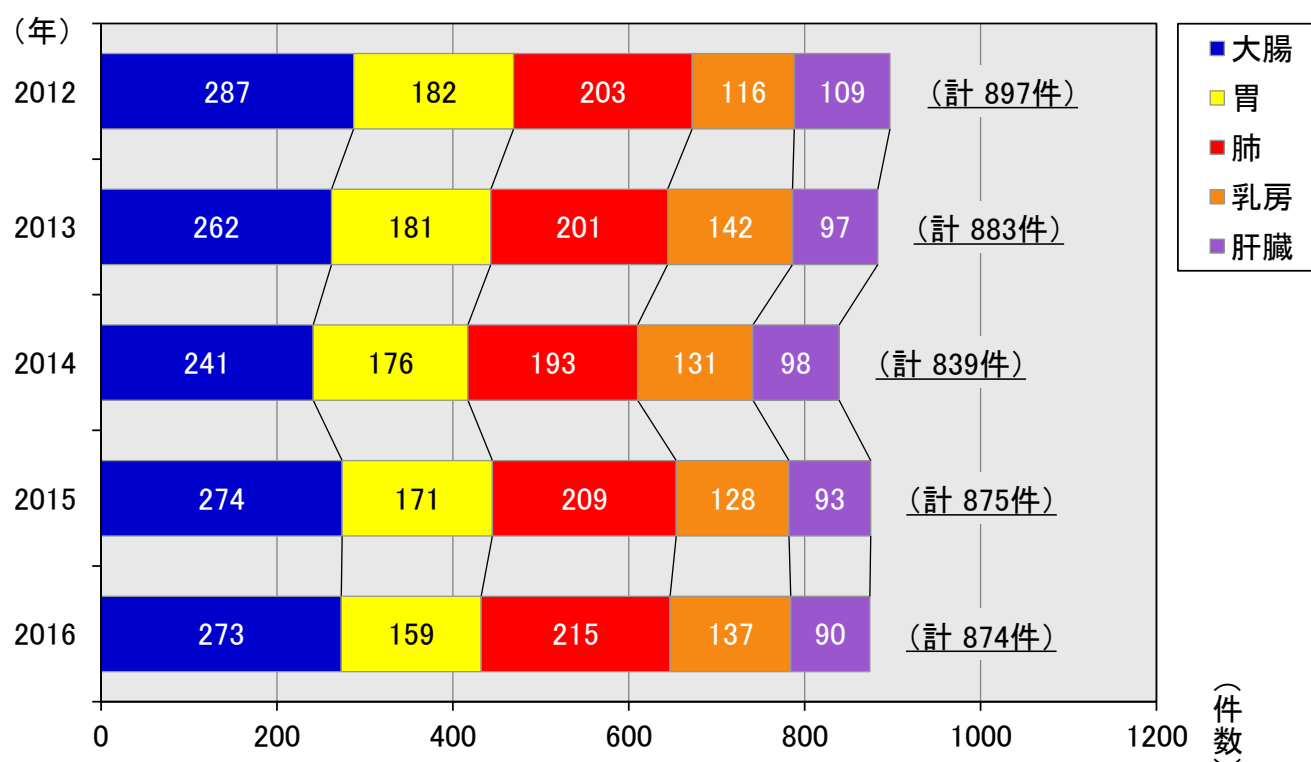


初回治療方法（5大がん）



2012～2016
年 次 推 移

登録件数（5大がん）の推移



診断年別登録件数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2012年	125	158	131	127	140	146	141	139	128	159	154	131	1,679
2013年	138	139	143	179	146	129	162	123	134	145	126	119	1,683
2014年	125	100	131	149	126	156	125	114	143	160	115	144	1,588
2015年	124	114	140	144	117	146	128	123	143	153	154	129	1,615
2016年	116	139	134	138	124	150	152	131	142	144	124	132	1,626
合計	628	650	679	737	653	727	708	630	690	761	673	655	8,191

編集後記

長崎医療センターの 2016 年腫瘍集計報告が完成しました。

今回で第 9 号となります。

2016 年から全国がん登録が開始されこれに伴って院内がん登録も少し内容が変わりました。これまで腫瘍集計報告では、初回治療方法についても 5 大がんそれぞれの年次推移を報告してきましたが 2016 年の内容がこれまでのものと一致しないことから今年から再出発することにしました。そのため今回は単年での治療方法を提示しています。是非、昨年までの年次推移を横において今回のものと比較してみてください。興味深い結果が見えてきます。

まず、5 大がんのうち大腸では化学療法の件数が増えています。以前もお話したことですが、化学療法といっても従来の抗がん剤ではなく遺伝子分析をしたうえでの治療法が増加しています。これは大腸に限ったことではありませんが今後もこの傾向は続くと思われます。なかなか化学療法の内容の比較まではできていませんが今後検討したいと思います。一方、肝臓では鏡視下手術が加わりました。過去に残念な新聞報道などありましたが 2016 年の診療報酬改定でもより厳格な施設基準のもと肝臓切除術の内容が拡大され細分化されました。今後も鏡視下手術が増加するのではないのでしょうか。肺に関しては登録数の増加とともにほとんどが鏡視下ですが外科治療が増えました。また前述のように化学療法も増加しています。乳房も件数が増えています。手術件数とともに内分泌療法が増加しています。これらは昨年の冊子と今回のデータを見比べながらお話ししているのですが、変化が一見して理解できる重要性を今回再認識しました。全国がん登録開始後の年次推移も改めて検討させていただきます。

最後に昨年の編集後記でも紹介させていただきましたが、すでに長崎大学病院を中心に県内のがん拠点病院を結んで、あじさいネットを利用した研修会を開催しております。近い将来 2 次医療圏の中でも多くの施設からの参加をいただいて、がん登録等に関する研修会が開催できるのではないのでしょうか。

2017 年 12 月

診療情報管理室長
濱脇正好

NATIONAL
NAGASAKI
MEDICAL CENTER



独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター

長崎県大村市久原2丁目1001-1 〒856-8562
TEL. 0957・52・3121〔代〕 FAX. 0957・54・0292
<http://www.nagasaki-mc.jp>